



▲栽培管理について意見交換をしました

JAひろしま三原なす部会は、三原市で中長ナス「筑陽」の栽培に力を入れています。3月にJAが開催

した。JAひろしま三原なす部会の視察を受け入れました。廿日市市にある部会員2人の圃場を見学し、生育状況や管理について情報交換しました。

## 地域をこえて交流(廿日市市)

JA宮農経済センターは9月5日から廿日市市の友田倉庫で、令和7年産米の集荷と検査を始めました。検



▲検査する様子

## 令和7年産米検査(廿日市市友田)

査は吉和倉庫と2カ所で行ない、11月12日まで続きます。

検査日には、生産者からの持ち込みやJA職員が集荷した新米を検査員が入念に検査し、等級の格付けをしています。

小田真宮農経済センター長は「生産者の皆さまの努力が結果に表れていると思います。新規・追加出荷も随時受け付けていますので、ぜひご検討ください」と話しました。

### 出荷のお申し込み・お問い合わせについて

お近くのJAアグリセンターまたは経済店舗までご相談ください。

したナスの生産者交流会をきっかけに、地域を超えた交流を初めて行ないました。佐伯長ナス生産者部会の甲斐仁部会長は「品種、規模は異なりますが情報交換をして励みになりました。JAで力を入れるナスを同部会も一丸となり盛り上げていきたいです」と意気込みました。今後、交流を続けていく予定です。



## 特産「はつかいちご」植え付け(廿日市市)

で販売する予定です。

廿日市市平良地区では、1949年にイチゴ栽培が始まり、最盛期の70年代には約100戸が栽培をしていました。約1,500本を管理する折本まち子さんは、先代から受け継ぎ今年で約20年。「今後の天候が気になりますが、昨年より収量増を目指したいです」と話しました。



▲植え付けをする折本さん

JAひろしまはつかいちご部会が手掛ける、特産「はつかいちご」の植え付けが9月中旬から始まり、大粒で甘みと酸味のバランスが良く人気が高い「はつかいちご」は12月下旬の収穫を見込み、JA廿日市アグリセンター

## 旬の食材をつかい料理教室(廿日市市地御前)



▲手際よく調理していきます

JA女性部佐伯中央地区本部地御前支部は9月18日、JA産直ふれあい市場「よりん菜」の

調理室で料理教室を開催し、10人が参加しました。JA佐伯中央地域総務管理課の職員が講師となり「家の光」などを参考に献立を作成し同市場の食材を使って毎月開催をしています。

今月は「白ネギとトウモロコシの混ぜごはん」、「ナスと鶏肉のしぎ焼き風」、「サツマイモもち」など6品を3班に分かれて手際よく調理しました。

児玉和子支部長は「何十年も続く料理教室は部員の交流の場となっています。習ったレシピは食卓の一品に加えています」と話しました。





# なるほど え~のう! 営農情報

## 水稲

### 来年に向けた圃場管理作業と 良質米生産のための土づくり

多くの田で刈り取りが終了し、ホツと一息つかれていることと思いますが、収穫作業終了後は作業機械の点検整備、圃場環境の整備を行ないましょう。

来年に向けた土づくりはとても大切です。この時期に土づくりをしつかりと行なうことが、来年の米の品質向上に繋がります。

#### ■作業機械の整備

作業機械は取り扱い説明書に従って点検整備を行ない、格納しましょう。

#### ■圃場環境の整備

漏水・透水の悪い箇所等、覚えていっているうちに修復を行ないましょう。

畦畔の雑草や枯れ草は一部のカメムシの越冬場所となるため、畦畔等の雑草や枯れ草も処理しましょう。

#### 土づくりは稲わらのすき込みから

稲刈り後の水田は、窒素やケイ酸など多くの養分を失った状態です。まずは稲わらや堆肥などの有機物を土壌に補給していきましょう。

稲わらを水田に戻せば、水稲が吸収した無機成分のうち、穂に含まれるものを除いたすべてが返されることとなります。しかし稲わらは、分解する際のガスの発生などによって、稲の初期生育を遅らせることがあるため、栽培が始まるまでに、左記の腐熟促進資材を用いて、できるだけ分解させておくことが大切です。

#### 腐熟促進資材

・石灰窒素 (10a/20kg)

年内に稲わらの上に散布してすきこむ。稲わらの腐熟を促進し、代掻き後の有害ガスの発生を軽減します。

・アグリ革命 (10a/2kg)

酵素の力で稲わらを分解。

土壌環境(乾田・湿田)に影響されず10a当たり2kg(一袋)で効果を発揮します。



#### 土づくり肥料

お米を作るには水稲が必要とする各種養分が土壌中に充分なければなりません。先ほど、わらはすべて還元すると述べましたが、糞として持ち出される割合も少なくなく、毎年水田から失われていきます。

窒素、リン酸、加里の3大要素は基肥や追肥で補えても、苦土やケイ酸、鉄などの微量元素はほとんど補給されず、かなりの土壌養分が不足してることになります。

そこで、以下に示す土づくり肥料が必要となってきます。

・ミネラルG (10a/200kg)

稲刈り後、秋から春までに施用。ケイ酸、鉄などを補給し根の活力を高めます。



#### ・シリカサポート (10a/60kg)

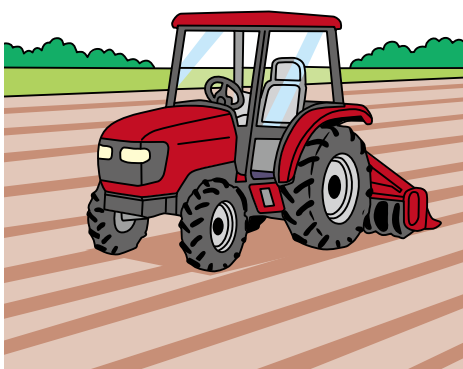
春に施用。ケイ酸、鉄分などを補給する。従来の土づくり肥料と比べ、労力軽減につながります。

#### ・カキテツ (10a/120kg)

稲刈り後から春までに施用。牡蠣殻が硫化水素を吸着し、ガスわきの軽減につながります。またケイ酸、鉄分の補給も行ないます。

#### ■深耕による作土層の改善

深耕すると根域が広くなり干害や湿害に強くなります。また、透水性が良くなるだけではなく、土壌の深部に集積している鉄やケイ酸などの養分が土に戻り、土が若返ります。年に2〜3cm位ずつ進め15〜18の作土を確保しましょう。



廿日市・大竹の旬を食べよう

地産地消で  
おいしい健康レシピ廿日市市・大竹市で活動する食生活改善推進員がオススメする、  
地元の旬の農産物を使ったレシピを紹介します。

## 料理のポイント

今回のレシピは電子レンジを使って簡単調理！カボチャの皮を剥く時は硬いので  
注意しましょう。  
最近では直売所で皮の色がベージュやオレンジ色のもの、ユニークな形のカボ  
チャなどたくさんの種類が出ています。味の違いをぜひ試してみてください！

## 今月の食材



## カボチャ

レシピ1 卵の花詰め  
とろーりあん

栄養価(1人分) エネルギー:221kcal 塩分:1.3g



## 材料 (4人分)

カボチャ…………… 1/4個  
ネギ…………… 2本  
卵…………… 1個  
おから…………… 2カップ  
油…………… 大さじ2  
鶏ミンチ…………… 120g

A { だし汁(かつおと昆布)…………… 300ml  
みりん…………… 小さじ2  
醤油…………… 大さじ1と2/3  
ショウガ(すりおろす)…………… 大さじ1  
片栗粉…………… 大さじ1と2/3

## 作り方

- 1 カボチャは、種とわたを除き、半分に切る。
- 2 ネギは小口切り。卵は割りほぐす。
- 3 フライパンに油を熱し、おからを炒める。パラリとしたら2を入れて混ぜる。
- 4 1のカボチャに3を詰めてラップで全体を包みレンジで約8分加熱する。
- 5 あんを作る。鶏ミンチを炒め、Aを加えかきまぜながら加熱し、とろみがいたら火を止める。
- 6 4を形よく食べやすい大きさに切ってお皿に盛り、5のあんをかける。



## レシピ2 かぼちゃまんじゅう

栄養価(1人分) エネルギー:87kcal 塩分:0g



## 材料 (4人分)

カボチャ…………… 200g  
あんこ(市販)…………… 80g  
青じそ…………… 4枚

## 作り方

- 1 カボチャは種と皮、わたを除き、サイコロに切る。  
※飾り用に、剥いた皮を三角に4個分を切っておく。
- 2 ラップをかけ、レンジで約5分加熱し、なめらかにつぶす。
- 3 2を4等分にし、ラップに広げてのばし、あんこを入れて包む。ラップを外し、箸でカボチャ形にすじを入れる。
- 4 1で作ったヘタをのせ、青じそをしき、盛り付ける。



紹介してくれた『廿日市ヘルスマイトボランティア協会』の方々

(左上から) 梅田啓子さん 浜井輝美さん 羽熊恭子さん  
(左下から) 井深眞佐子さん 岡田いく子さん

## 食生活改善推進員(ヘルスマイト)って？

食生活改善推進員は、食を中心に地域で様々な活動をしている健康づくりボランティア団体です。野菜を使ったバランスのとれた食事や減塩の工夫など生活習慣病予防や低栄養予防、また地産地消や郷土料理の伝承といった観点から、料理教室などを通して地域に健康づくりを伝える活動をしています。現在、仲間となって楽しく一緒に活動する会員を募集しています。詳しくは、下記までご連絡ください。

■ レシピ問い合わせ：廿日市市健康福祉部健康福祉総務課 ☎ 0829-20-1610

廿日市市食生活改善推進員のHPはコチラ



廿日市食推

©ここまる



# Information お知らせ

## 農協感謝祭

日時：令和7年11月16日(日)

9:30~14:00 ※「よりん菜」の営業時間とは異なります

場所：JA産直ふれあい市場「よりん菜」特設会場  
廿日市市地御前1丁目22-30

農産物品評会・模擬店などJAの職員や関係者が工夫を凝らした催しをお楽しみください！

お問い合わせ JAひろしま佐伯中央地域 ☎0829-39-3232

### マロンの里交流館

#### 臨時休業のお知らせ

マロンの里交流館では改修工事に伴い左記の通り臨時休業いたします。

#### 臨時休業日

令和7年12月8日(月)~12日(金)

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

#### お問い合わせ

マロンの里交流館

☎0827-15510055

### JA佐伯アグリセンター

#### JA佐伯農機センター

#### 営業日変更のお知らせ

誠に勝手ながら、令和7年11月1日より左記の通り営業日を変更させて頂きます。

#### (変更前)

営業日 月曜日~土曜日(祝日を除く)

9:00~17:00

#### (変更後)

営業日 月曜日~金曜日(祝日を除く)

9:00~17:00

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

## 農業用資材の廃棄物を回収します 廃ビニール・肥料袋・農薬など

農業廃プラスチック類は、一般廃棄物に指定されており、農業者自らの責任で適正に処理することが義務づけられています。JAが農業者(排出者)に代わって回収業者・処理業者との委託契約、回収・処理費用の徴収、支払い及びマニフェスト(産業廃棄物管理票)の発行等の事務を代行いたします。

※当日は必ず【印鑑】をご持参ください。※シャチハタ不可  
※回収処理費用は、実費をご負担いただきます。

#### 回収する廃棄物

①農業用塩化ビニール②農業用ポリエチレンフィルム③肥料用ポリエチレン袋(肥料袋)④畔なみシート⑤育苗ポット・ポリ育苗箱⑥コンテナ・育苗用トレイ等⑦その他農業用廃プラスチック類⑧農薬(粉・粒・液剤)⑨農薬の空き容器(ポリ容器・ビン・水和剤袋・紙袋に限る)

| 回収日時                            | 回収地区  | 回収場所             |
|---------------------------------|-------|------------------|
| 令和7年<br>11月26日(水)<br>9:00~11:30 | 吉和地区  | JA吉和支店駐車場        |
| 令和7年<br>12月6日(土)<br>9:00~11:00  | 廿日市地区 | JA廿日市アグリセンター前駐車場 |
|                                 | 大野地区  | JA大野アグリセンター前駐車場  |
|                                 | 佐伯地区  | JA友和支店横駐車場       |
|                                 | 大竹地区  | JA大竹アグリセンター前駐車場  |